

環境省「環境研究総合推進費」

S-13 持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理手法の開発

H27
年度

公開成果発表会

参加
無料

この研究は、5つの研究テーマについて15の研究機関が相互に連携して研究を行い「統合的沿岸海域モデル」を構築し、これを環境行政施策に反映させることにより『きれいで、豊かで、賑わいのある持続可能な沿岸海域実現』を目指そうとするものです。

公開成果発表会は、これまでの研究成果の発表と参加者の皆様との意見交換を通じ、情報共有・相互理解を促進し今後の研究に活かすことを目的に開催するもので、S-13プロジェクト参加機関、行政機関、研究機関、関連団体、海域環境の保全・創造に関心のある皆様の主な対象としています。

〔日時〕平成27年11月5日(木) 10:00~17:00

〔場所〕世界貿易センタービルディング3階 WTCコンファレンスセンター Room A

東京都港区浜松町2丁目4番1号 JR山手線/京浜東北線・東京モノレール浜松町駅と直結

〔内容〕10:00~ 開会・全体紹介

10:15~ テーマ1 閉鎖性海域・瀬戸内海における栄養塩濃度管理手法の開発

10:50~ テーマ2 開放性内湾が連なる三陸沿岸海域における沿岸環境管理法の開発

13:00~ テーマ3 陸棚・島嶼を含む国際的閉鎖海域・日本海の海域管理法の開発

14:05~ テーマ4 沿岸海域の生態系サービスの経済評価・統合沿岸管理モデルの提示

15:30~ 総括・テーマ5 沿岸海域管理のための統合数値モデル構築

15:50~ 総合討論

17:00 閉会

研究の詳細はHPをご覧ください <http://www.emecs.or.jp/s-13/>

〔主催〕環境省「環境研究総合推進費」

S-13 プロジェクト「持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理手法の開発」

公益財団法人国際エメックスセンター

【お問合せ・参加申込先】

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番2号
人と防災未来センター 東館5階

(公財)国際エメックスセンター(担当:大輪・矢内)

TEL 078-252-0234 FAX 078-252-0404

E-mail secret@emecs.or.jp

参加ご希望の方は、裏面の申込書に必要事項をご記入の上、(公財)国際エメックスセンターへ、ファクシミリまたは電子メールでお申込みください。

* 定員(100名)に達し次第締め切ります。

【会場案内:WTCコンファレンスセンター】



【発表内容の詳細】

10:00 ~ 開会・S-13 全体紹介	柳 哲雄	国際エメックスセンター
10:15 ~ テーマ1 閉鎖性海域・瀬戸内海における栄養塩濃度管理手法の開発		
栄養塩濃度管理法開発	西嶋 渉	広島大学
干潟・藻場の栄養物質循環・生物再生産に果たす機能の解明	多田 邦尚	香川大学
10:50 ~ テーマ2 開放性内湾が連なる三陸沿岸海域における沿岸環境管理法の開発		
遷移する沿岸環境監視とそれを応用した沿岸海域管理法開発	小松 輝久	東京大学
森一川一海の栄養物質輸送機構の解明	門谷 茂	北海道大学
森一海の物質輸送に果たす有機物の役割解明	吉村 千洋	東京工業大学
森一海の物質輸送に果たす有機物の役割解明	西村 修	東北大学
13:00 ~ テーマ3 陸棚・島嶼を含む国際的閉鎖海域・日本海の海域管理法の開発		
国際的閉鎖性海域の管理法提案	吉田 尚郁	環日本海環境協力センター
日本海環境変動予測モデルの構築	森本 昭彦	愛媛大学
日本海環境変動予測モデルの構築	広瀬 直毅	九州大学
日本海高次生態系モデルの構築	郭 新宇	愛媛大学
14:05 ~ テーマ4 沿岸海域の生態系サービスの経済評価・統合沿岸管理モデルの提示		
生態系サービスの経済評価	仲上 健一	立命館大学
沿岸海域三段階管理法提案	日高 健	近畿大学
人文科学的考察に基づく市民と沿岸海域を結ぶ物語の発見・構築・継承	印南 敏秀	愛知大学
対馬・五島の海洋保護区における漁業活動調整	清野 聡子	九州大学
15:30 ~ 総括, テーマ5 沿岸海域管理のための統合数値モデル構築	柳 哲雄	国際エメックスセンター
15:50 ~ 総合討論		
17:00 閉会	柳 哲雄	国際エメックスセンター

環境研究総合推進費 S-13 公開成果発表会 参加申込書

お名前	所属	役職等	電話	E-mail

申込書送付先: FAX 078-252-0404 E-mail secret@emecs.or.jp